

令和8年度健康づくり等キャラクター制作業務概要

1 背景・課題

本県は、平均寿命が全国と比較して低い状況にあり、その一因として、死因の2割超である循環器病（脳卒中・心血管疾患）が挙げられる。

循環器病死亡の主な要因は高血圧症であり、本県の40歳以上における未治療者数（推計）は、生活習慣病（高血圧症・脂質異常症・糖尿病）の中でも高血圧症が最多であるため、全県的な健康づくりに関する機運醸成を図りながら、高血圧症の有病未治療者に対する受診勧奨を推進する必要がある。

本業務では、県や県内市町村、さらには県内民間企業等が循環器病対策を中心とする健康づくり等全般の普及啓発に活用できるキャラクターの製図・デザインを行う。

2 事業内容

(1) 事業趣旨

県民が日常的に閲覧するSNSや街頭ポスター上で、本業務により制作したキャラクターを県民が認知し、全県的な健康づくりへの機運醸成を図る。

(2) 内容・ポイント

- ① 県が指定するキャラクターの原案を使用すること。
- ② 循環器病対策を中心とする健康づくり等全般への活用を目的とした、SNSやポスター等への掲載を想定したキャラクターデザインとすること。
- ③ キャラクターデザインは、合計30種以上とし、次の「A. 基本バリエーション」及び「B. 場面別バリエーション」を制作すること。

A. 基本バリエーション

- ・立位で任意のポーズ1種×6方向（正面1、前方斜め横各1、左右各1、後1）
- ・指示棒を持つポーズ1種×2パターン（右手持ち、左手持ち）
- ・喜怒哀楽の表情及びそれを表すポーズ（顔のみ可）×4種（全て正面）

B. 場面別バリエーション

- ・循環器病対策や健康増進に資するデザイン
（例：高血圧対策、血圧測定、減塩対策、野菜摂取の促進、運動、喫煙対策等）
- ④ ③で制作した主となるキャラクターに加えて、付随するキャラクター等、予算の範囲内で制作可能な、普及啓発を行う上で汎用性の高いデザインを、発注者と相談の上、制作すること。
 - ⑤ 制作したキャラクターを使用したポスターを発注者と相談の上制作し、2,000部印刷すること。

<参考>

- ・青森県民のスポーツ・健康づくりのマスコット『アップリート君』
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-sports/applete.html>
- ・青森県庁ホームページ（循環器病（脳卒中・心臓病）対策）
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/ganseikatsu/nousottyuu.html>
- ・あおもり健康情報局（がん・生活習慣病対策課が運営するSNSアカウント）

